

## CONTENTS

- 新年の御挨拶
- 種苗生産速報
- 防疫概況
- 新製品
- 挨拶・御知らせ

- サバイバルレースを勝ち残る**
- 2000年9~12月種苗生産動向**
- 多様化していく魚病への対応**
- HYDROTECH ドラムフィルター**
- 新年挨拶・第9回水産種苗フォーラム**

ACN会長 田嶋 猛

ACN 総評

藤原 和宏 (株)サン・ダイコー  
(有)松阪製作所

## サバイバルレースを勝ち残る

ACN会長 田嶋 猛

明けましておめでとうございます。 本年もよろしくお願ひいたします。  
平素から私たちのACNレポートをご支持いただきありがとうございます。

### 日本の食文化を支え続ける養殖業界

■21世紀は予想されたとはいえ、どんよりと曇った冬の空の下、円安、株安で始まりました。かつて、種苗生産業や養殖業の経営者との会話の中には「将来、この業界はどうなっていくのだろうか」、「自分の子供に跡を継がしてもいいものだろうか」という話題がありました。昨今は「来年はどうなるか」「これから〇〇〇の受精卵を仕込んで大丈夫だろうか」というような、切迫した話題が多くなりました。それだけ業界の淘汰が進んできている証拠であると思います。しかしながら、この業界がかつての石炭や繊維業界のように急速にしぶんでいるわけではなく(過去10年間の海面養殖魚類生産量は25万トン前後で推移している)、日本の食文化の中で刺身が輝き続けることは明白で、しかもその中で養殖活魚のしめる地位は東の横綱クラスです。

### アクアカルチャーエンジニアとしての自負

■淘汰される側には誰しも入りたく無いですが、生き残る側に存在し続けるためには「資本」か「技術」のどちらかを持つ必要があります。前者はある程度の制約がありますが、後者は種苗業界の経営者がもっとも得意としている分野です。なぜならば多くの経営者はアクアカルチャーエンジニア出身の筈です。他社とは一線を画す品質(色、形状、耐病性、高成長、低コスト、肉質 etc)をつけて新世紀に船出しましょう。



2000年

## 9月～12月種苗生産動向

**ACN 総評**

厳しい経営環境が続く中、生産量や出荷調整などの情報収集や工夫が求められているようです。さらにますますの品質へのこだわりで需要家の支持を得る時代では。

### 総 評

マダイ種苗は夏越しの需要急増に対応できず12月に入ても順調に出荷されている。それに反して、ヒラメ種苗は11月出荷分が激減したにもかかわらず養殖業者の切迫感は希薄である。

トラフグの成魚価格は低迷するが早期種苗の生産意欲は旺盛。

### 1・マダイ

**12月より堅調出荷。不安な生産過剰。**

- 成魚価格の上昇とともに夏越し種苗需要が急騰したがイリドウィルス等の被害のため出荷魚は少なく、急遽9月に仕込んだ受精卵ものが12月に入り順次出荷されている。
- マダイ種苗業者にとっては久々の明るい話題であるが、その一方で生産過剰を心配する声も聞こえてくる。
- サイズは6cmUpからで価格は10±2円/cmで年内に約550万尾出荷された模様。
- 別途、3月以降出荷予定の種苗生産意欲は強く数年ぶりに通期で6,000万尾/年を相当オーバーする年になりそうである。

### 2. ヒラメ

#### 20日病は収まるものの出荷量は横這い。

- 8月中旬から受精卵の導入が始まったが、いわゆる20日病(日齢14日前後にワムシ未消化で腹部膨張症)による大量消耗が発生した種苗場が8社に及び11月出荷のヒラメ種苗は激減した。

- そういう状況下にあっても愛媛県[まる阿水産]は比較的順調に生産したが年内出荷は昨年より減少し100万尾にとどまった。

このような状況を反映して、韓国からの種苗輸入の動きもあったが結果的には少量にとどまった。

原因としては、ヒラメ成魚の浜渡し価格がkgもので2,000円/kg前後と下落し、しかも動きが悪くタンクが空かないため養殖業者の種苗導入意欲が低いことがあげられる。

年内出荷尾数は約380万尾、種苗価格は5cmUp100~80円/尾であり、生産不調を反映して急速な下落傾向はない。

20日病は各社とも克服(注:1)したもののはらめ種苗につき物の奇形、白化、黒化の影響で稚魚の出荷量は横ばい状態である。

**注1:** 原因菌やウィルスが発見できず対策としてはタンク及び関連設備の徹底消毒及び他社ワムシとの入れ替えが有効であった。

### 3. トラフグ

#### 養殖物成魚市況の低迷が懸念される。

- 採卵の早期化は昨シーズン以上に進み、愛媛県[バイオ・エヒメ]など3社が年内出荷し、さらに2社が年明け早々に出荷予定である。
- 早期物の種苗価格は4cmUPで130～110円/尾であるが早期物のマーケットの許容量は限られており生産過剰になると価格下落を招きかねない。
- 養殖物の浜渡し価格はkg物で2,800円/kgと昨年に比べて大幅に下落している。主原因として天然物が豊漁であったことと、中国産陸上養殖フグの輸入、そして不景気による消費低迷の三点があげられる。

### 4. シマアジ

#### 早期採卵対応も市況には厳しい情勢。

- 最大手の大分県[マリーンパレス]が例年より2ヶ月早く11月に採卵し400万尾が順調に成育し、すでに沖出を開始しており3月には出荷可能であるとのこと。
- 「別途通常時期(2ラウンド目)の生産も可能であるが現在の成魚市況を考慮すると.....」と岩城場長も思案中であった。他社も種苗生産は順調であるが、成魚価格が1,500円/kgと低迷しているうえにイリドウイルス症に感染しやすく人気が低いため種苗販売動向が気がかりである。

### フレッシュマン

#### 太平洋貿易(株) 重野太治君(23才)

「新年明けましておめでとうございます。21世紀の幕開けとなる2001年元旦を持って太平洋貿易(株)に入社いたしました重野太治と申します。これからこの業界のことを一生懸命勉強していきたいと思いますのでご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。」以上が本人の文章です。ちなみに彼は知る人ぞ知る(業界外の人は全然知らない)重野氏の長男です特技:パチンコ(ACN会員必須アイテム)、書道、空手、英会話・・中国語会話も少々

### NEW PRODUCTS

#### サンライトタンク

SLP-200U

(丸底タイプ)



■二枚貝幼生飼育及びナマコ・ウニの遊泳時期の幼生飼料として、微細藻(ナンノ・珪藻・ハプト藻等)の培養は最も重要なポイントです。これらの培養を効率よく行う為に考案したタンクです。

■光(自然光・人工光)を十分に吸収できて、洗浄も楽に出来る構造になっております。

■オプションのサークルベースを利用すれば、ワムシ・アルテミアの培養・稚魚の管理水槽と多目的に活用出来ます。

容量 200L

上部外径 780mm 上部内径 700mm

底部外径 360mm 高さ 640mm

¥40,000円

お問い合わせは

(株)田中三次郎商店

Tel0942(73)1111 Fax0942(72)1911

〒838-0141 福岡県小郡市小郡 1139-1

office@tanaka-sanjiro.com



(株)サン・ダイコー水産営業部 藤原 和宏

## 多様化していく魚病への対応

ここ数年の魚病発生状況をみて見ますと、一昔前に発生した病気(ノカルジア症)が多発したり、薬剤耐性菌、寄生虫が蔓延し、抗生素では対応できない状況が各地でみられます。

## 各地区魚病発生状況(9~12月)

### ■長崎県

ハマチ 連鎖球菌が主であるが、年々薬剤耐性(マクロライド系)が発生する時期が早まっている。また、昨年まで発生が無かった地区でも、ノカルジア症は発生したが、病勢は弱かった。

トラフグ 口白症による斃死が増加。また、寄生虫の付が例年になく多い。

### ■熊本県

ハマチ 連鎖球菌症の病勢が強く、薬剤耐性菌も各地で蔓延している。ノカルジア症は昨年に比べると病勢は弱かったが、被害は広がっている。また、はだ虫の付が非常に多い。

トラフグ 各寄生虫(ヘテロ、白点、はだ虫、トリコジナ)付が例年になく多い。

### ■大分・宮崎県

ハマチ 連鎖球菌症十類結節症の合併症が長く続いた。

カンパチ 例年より病気発生は少なく、類結節症が主であったが、再発が早くて休薬期間が短い(4~5日)地区もあった。12月に入り連鎖球菌症の病勢は強くなっている。

### ■鹿児島県

ハマチ 9、10月は連鎖球菌症の病勢も強く、薬剤耐性も多かったが、12月に入り沈静化した。ノカルジア症の発生は少なかった。

カンパチ ノカルジア症の発生が早く(8月中旬)、9、10月にピークを迎え病勢は非常に強かった。12月に入りようやく沈静化傾向である。

### ■愛媛県

ハマチ 類結節症が11月上旬まで発生。連鎖球菌は例年並だが、薬剤耐性菌が多い。また黄疸症が夏場から12月上旬まで発生した地区もあった。

トラフグ 秋のヘテロの付が非常に多く、現在も増殖傾向にある。その他寄生虫(トリコジナ)も7月から

発生。

マダイ イリドウィルスが9~10月にかけて発生したが、大きな斃死は無かった。

## ノカルジア症について

ノカルジア症は今から15~20年前に被害をもたらしていましたが、その後はほとんど発生例がありませんでした。しかしこの2~3年各地で相次いで報告されるようになり、その被害は年々増加傾向(定期的)にあります。また、発生時期も早まる傾向にあり、発生期間も長く、魚種もハマチ当歳、2歳、カンパチ当歳、ヒラメと多様化しています。発生傾向をみてみると、鰓結節症が主体で軀幹結節症は、一部2歳ハマチで見られます。被害状況は、1イケスあたりの斃死尾数は変わりませんが、一度感染した海域では年々被害の枠が広がっています。今の所これと言った対処療法はありませんが、「ノカルジア症が発生した養殖場では、底泥などに病原菌が定着し、それが感染源となって流行を繰り返す」と記述されている文献もあることから、飼育環境のコントロールも今後の予防方法の一つかと思われます。

## ワクチン開発状況

すでにご存知の方も多いかと思われますが、「ブリの $\alpha$ 溶血性連鎖球菌症およびビブリオ症混合不活性化注射ワクチン」(共立商事)が承認され本年発売開始となります。これまでの経口ワクチンと比較しても、その有効性と効果の持続は長く、防御効果は試験的段階で9ヶ月、その後の追跡調査でも、22ヶ月持続することが確認されています。

「注射」という作業性の手間は考えられますが、薬剤耐性菌が蔓延し、あの手、この手で対応に苦慮しておられる生産者の方々からは、早くも期待の声が届いております。

今後も皆様の期待に応えられるよう我々も努力して頑張りたいと思います。

# 新 製 品

種苗生産・陸上養殖シーンの濾過処理決定版

## HYDROTECH ドラムフィルター

ドラムフィルターで世界的に数多くの実績を持つハイドロテック社と提携して(有)松阪製作所は日本の水産業界向けに製品の発売を始めました。

### ローコストで大量処理を実現

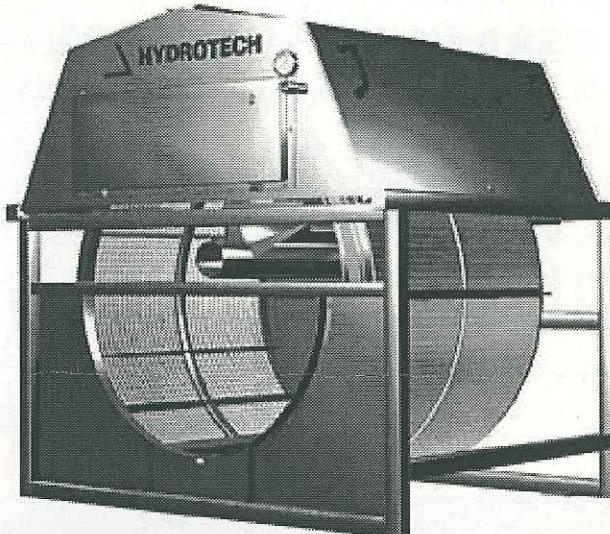
- 処理に高い圧力を必要としないためエネルギーコストが低く動的部品が最小限になるよう設計されていますので、長寿命で低いメンテナンスコストを実現します。
- これまでの濾過装置に比べ低い投資額で大流量の処理が可能です。

### 汎用性が高く安心素材使用

- フィルターエレメント交換によりお望みの流量と濾過能力に細かく対応します。
- ドラム・タンクはステンレス製(チタン・FRP可)  
軸受けやエレメントは耐磨耗プラスチックやPP・PE樹脂を採用しています。

### 逆洗中もストップなしで自動運転

- 自動的にフィルターの目詰まりを感じて、逆洗を必要な秒数だけ行います。最小限の動力・水量で処理します。
- 逆洗中でも処理水がストップなしで供給されます。



流量 :

最大  $90m^3/\text{分}$

フィルター目合い :

10 ~ 1000 ミクロン

### 機種仕様例

		HDF501	HDF2007
■最大流量 ( $90\mu\text{時}$ )		11L/sec	525L/min
■仕様	ギヤモーター	0.18kw	1.1kw
	フィルター面積	0.35 m <sup>2</sup>	15.8 m <sup>2</sup>
	配管接続口径	1/2"	1"
	逆洗ポンプ (60HZ 時)	0.2kw	4kw

確かな安心・さらなる進化

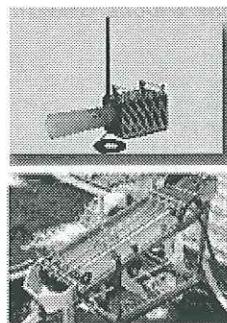
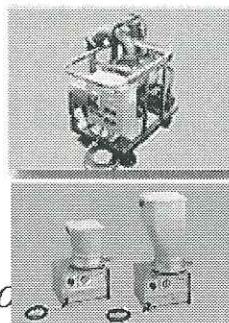
### 有限会社松阪製作所

〒596-0823 大阪市岸和田市下松町 309

TEL0724-38-2666 Fax0724(38)2536

Email [mtskltd@matssakaltd.co.jp](mailto:mtskltd@matssakaltd.co.jp)

ACN REPO



# 2001年新年の御挨拶

ACN 副会長  
福田 功一 大阪魚市場(株)

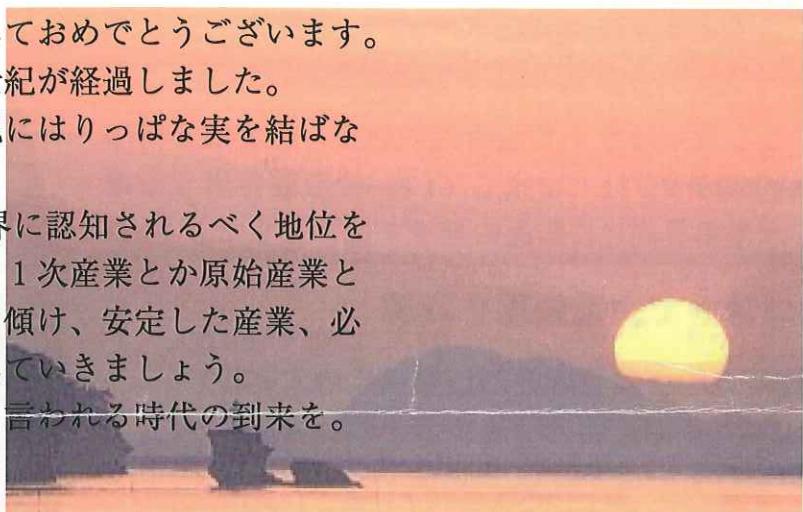
21世紀の幕開けです。新世紀あけましておめでとうございます。

日本の海産魚養殖が始まり、およそ半世紀が経過しました。

壮年期から熟年期へと成長し、21世紀にはりっぱな実を結ばなければなりません。

IT産業が花開く世紀に、養殖産業も世界に認知されるべく地位を確立しなければなりません。いつまでも1次産業とか原始産業と言われないように業界あげて全知全能を傾け、安定した産業、必要欠くべからざる産業となるよう努力していきましょう。

21世紀には「養殖こそ水産業の華」と言われる時代の到来を。



## 作り育てる漁業は21世紀食料資源の礎です

上野製薬(株) 大阪魚市場(株) クロレラ工業(株) 九州積水工業(株)

ヤンマー九州(株) (株)サン・ダイコー 太平洋貿易(株) (株)田中三次郎商店

日清飼料(株) (有)松阪製作所 (株)山一製作所

ACN会員企業 11社

## 第9回水産種苗フォーラム

今年は「第9回種苗生産フォーラム」開催年です。

ACN企業一同今年もより多くの出会い・情報交換を楽しみにして、お待ちしております。

開催日時予定： 平成13年8月24日(金)13:00～ 講演・展示会・交歓会  
25日(土)09:00～ 展示会

開催場所 : シーホークホテル&リゾート

主 催 : ACN 後援：広島県種苗生産組合・(有)湊文社

\*詳しくは、[ACN REPORT] 「フォーラム御知らせ」で御案内いたします。